

平成27年度(第59期)
第2四半期決算説明資料

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)



平成27年11月30日

目次

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 収益関連指標	5
(5) 総資産・純資産	6
(6) 配当政策	7
(7) 利益配分の方針	7

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略(連結)

(単位:千円)

	H26年度 上半期	H27年度 上半期	前期比(%)
売上高	6,830,376	6,560,700	96.1
営業利益	230,525	282,920	122.7
経常利益	277,316	328,170	118.3
四半期純利益	170,910	214,666	125.6

(単位:千円)

	H27年 3月末	H27年 9月末	増減
資産	12,986,813	13,904,972	918,159
負債	6,431,621	7,282,444	850,823
純資産	6,555,191	6,622,527	67,336
負債純資産	12,986,813	13,904,972	918,159

2

(2) 事業の取り組み内容について

営業

- ・当社の強みでもある高効率モータや低消費電力ポンプの販売促進を行う。
- ・マイクロバブル発生装置などのユニット製品の拡販を行う。

製造、購買

- ・新生産管理システムの構築により、生産効率を高めていく。
- ・鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が大きく変動する中で、グローバルな部材の調達や国内外の生産拠点のすみ分けで、トータルコストダウンを図る。

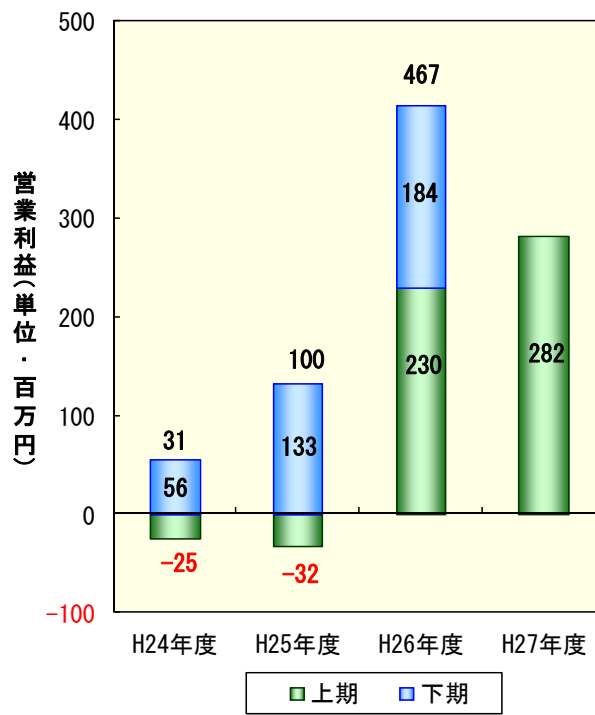
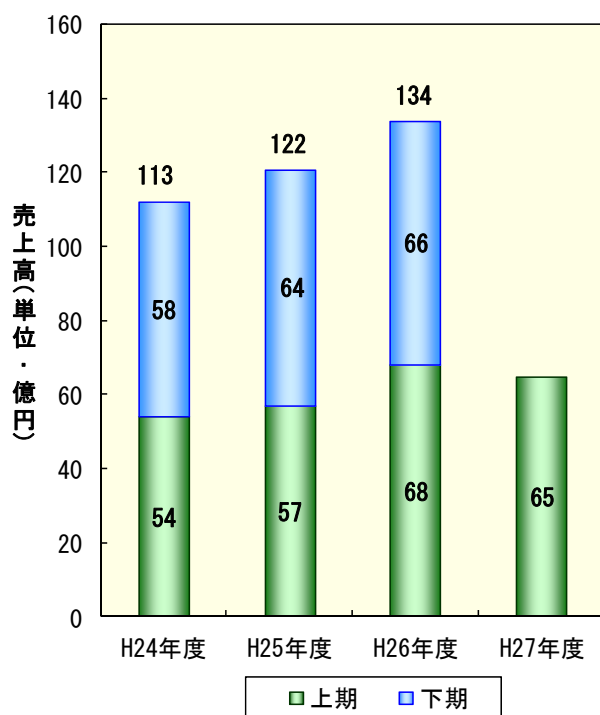
研究開発

- ・環境にやさしい省エネ、低騒音の製品を開発し、量産の準備を行う。
(IE3(プレミアム効率)対応の高効率モータ 他)
- ・新規用途に対応した製品の開発(建設機械、医療機器 他)

3

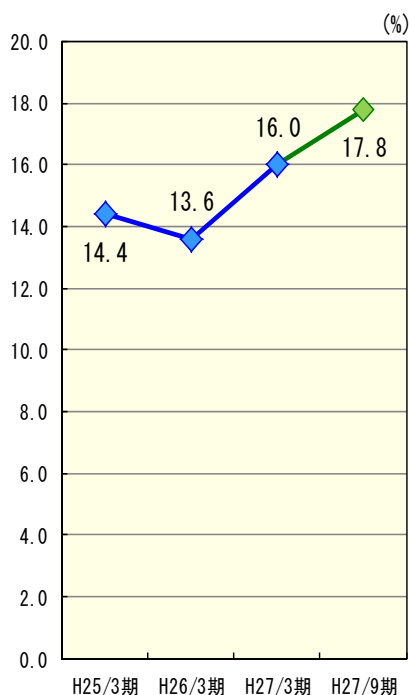
(3) 売上高および営業利益の推移(連結)

- ・売上高においては、半導体設備業界や工作機械業界などの受注が増加傾向となる一方で、給水ポンプの受注減少により、前年同期ではわずかに減少となる。
- ・利益面においては、円安による海外調達部品のコストの増加要因はあったものの、販売価格への転嫁や原価低減効果などにより、前年同期と比べ増益となる。

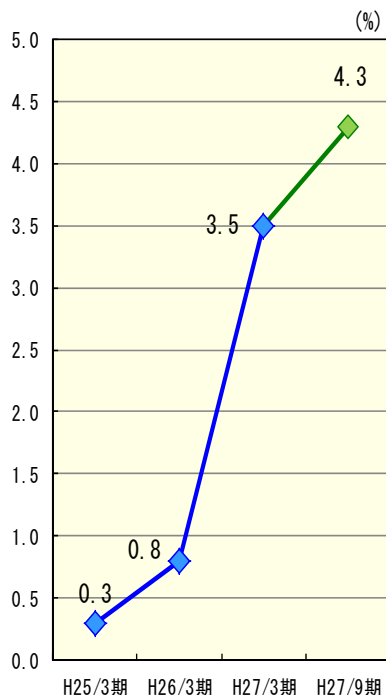


(4) 収益関連指標(連結)

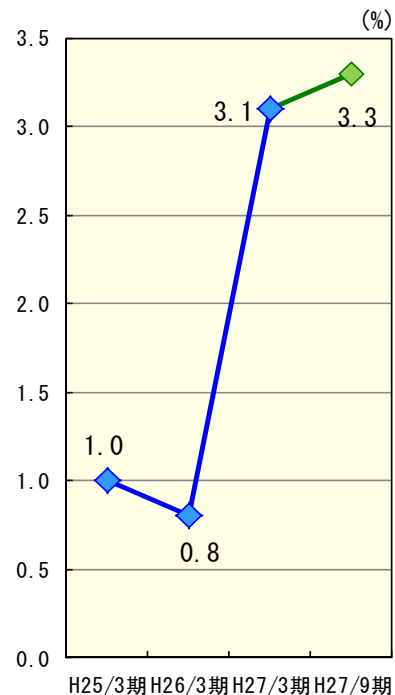
◆ 売上総利益(率)



◆ 営業利益(率)



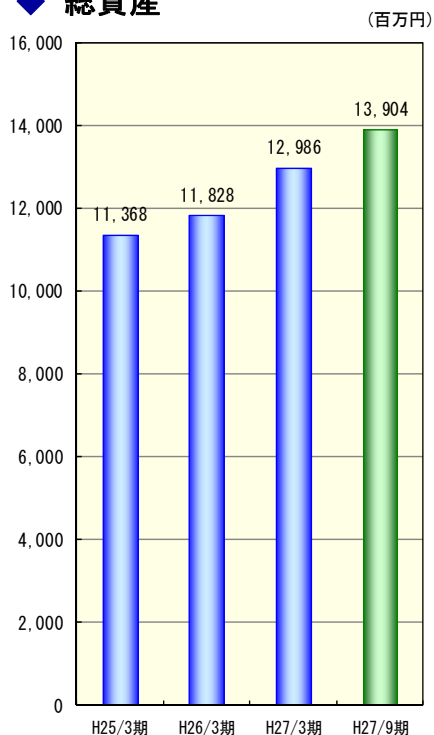
◆ 当期(四半期)純利益(率)



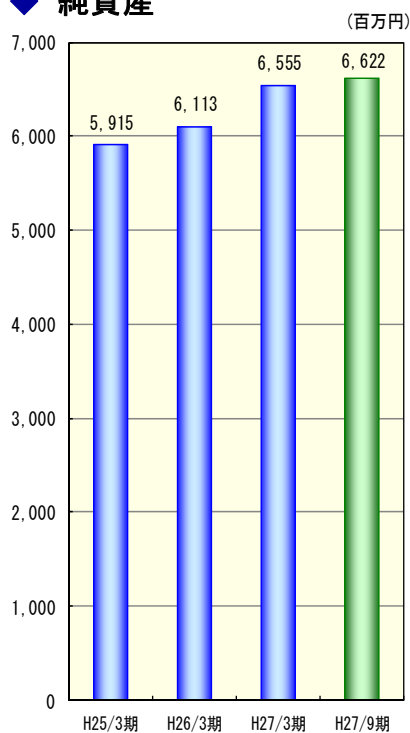
(5) 総資産・純資産(連結)

- ・資産については、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加
- ・負債については、主に支払手形及び買掛金、長期借入金が増加
- ・純資産については、為替換算調整勘定が増加

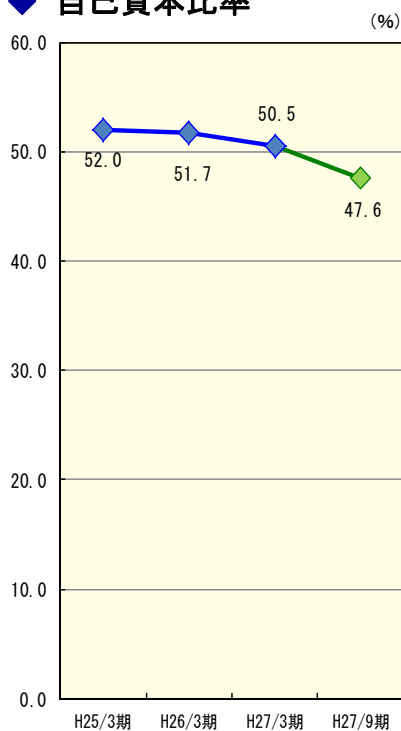
◆ 総資産



◆ 純資産



◆ 自己資本比率



6

(6) 配当政策

利益配分につきましては、株主様および一般投資家様への企業責任の重大性を十分に認識し、業績を勘案して安定配当の確保と継続を基本とするとともに、グループが成長するための有効投資および財務体質の強化に取り組んでまいります。

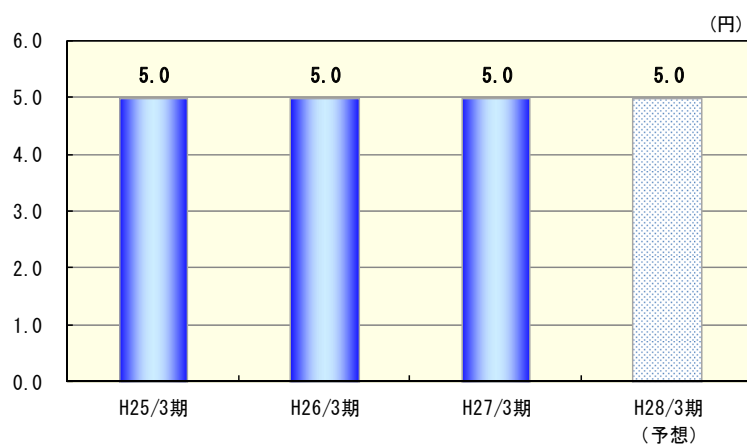
(7) 利益配分の方針

平成27年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきました。

次期の配当につきましても、1株につき年5円00銭を予定しております。

今後更に、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めてまいります。

◆ 配当金の推移



7

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

経済状況

- ・雇用や所得の環境改善が持続し、原油安や株高に伴うプラス効果の影響や各種政策の推進もあり、景気は堅調に推移することが期待されるが、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとして残り、依然として楽観視できない状況が続くものと考えられる。

業界動向

- ・家電業界では、円安による輸出増加の期待がもたれるが、世界経済の低迷により大幅な需要増加は見込まれない。
- ・工作機械装置業界では、企業の設備投資に一服感があり、不透明な受注状況が続くものと考えられる。
- ・住宅設備関連業界では、消費増税後から建設需要は低調であり、またマンションの杭打ち偽装問題から需要は低迷することが予想される。
- ・半導体製造設備業界では、好調であった市場は徐々に落ち着きを取り戻しつつある。

8

(2) 諸施策

営業

- ・当社グループの優位性がある、高効率で低消費電力のモータやポンプを中心に拡販を進めていく。
- ・グローバルな顧客創出活動と、新規用途の提案で新市場を開拓していく。

製造、購買

- ・新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図り、顧客ニーズに応える。
- ・部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。

研究開発

- ・低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・国際規格(IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

品質

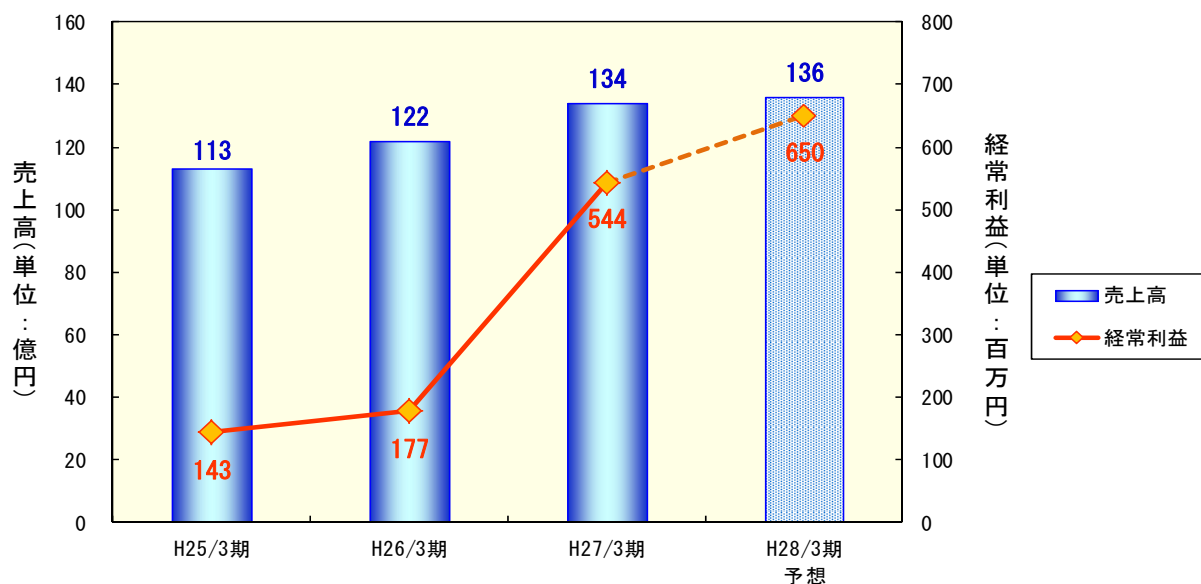
- ・製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・受入検査の厳格化により組立部門への不適合部品の混入を防ぎ、品質効率を高めていく。

9

(3)業績の見通し(連結)

連結：売上高については、中国市場での落ち込みが予想されるものの、高効率モータの需要増加が見込まれる。
利益面について、高効率モータによる利益率の改善に加え、原価低減効果により増益を見込む。

◆ 売上高・経常利益



おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成27年11月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経営企画課

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail sanso@sanso-elec.co.jp